

## 平成30年度 相模湖地区まちづくり懇談会結果報告

- 1 日 時 平成30年11月1日(木)午後7時から午後8時35分まで
- 2 場 所 相模湖総合事務所 大会議室
- 3 市側出席者 湯山副市長、中島緑区長、鈴木緑区副区長、齋藤市民局長
- 4 出席委員等 23人
- 5 傍聴者 5人
- 6 懇談会の要旨

テ ー マ 1	相模湖地区の活性化と魅力づくりについて
概 要	次期相模原市総合計画及び都市計画マスタープラン策定に向けた地区のまちづくりに係る意見を踏まえ、地区住民が思う相模湖地区の将来ビジョンを聞いていただき、相模湖地区の活性化と魅力づくりに向け、地区住民はどのような役割を担い、取組をしていけばよいのか懇談したい。
課題事項1	人口減少対策について
概 要	<p>人口減少が顕著である相模湖地区では、近年、空き家数が増加しており、今後更に増加していくことが考えられる。</p> <p>人口を増やしていく具体的な方策を考えていかなければ地域の活性化は望めず、また、人口が減少すると空き家が増え、防犯面などからも地域の元気がなくなって問題も生じると思われる。</p> <p>相模湖地区に引っ越して来た人は小学生や小さい子ども連れが多く、自然の中で子どもを育てたいとか、環境の良いところに住んでみたいなど、ニーズはあるように感じており、地区住民としてどのような行動を起こすべきかを考えたとき、空き家を活用した移住・定住促進を進めることが考えられる。</p> <p>例えば、空き家バンクのような、空き家の所有者等と相模湖地区への居住希望者をつなげる仕組みを整え、それらの情報を提供する手法を検討する必要があると思う。</p> <p>緑区では「すもうよ緑区」の特設サイトを立ち上げているが、相模湖地区の魅力の情報発信や相模湖地区への移住・定住支援の施策について懇談したい。</p>
市の取組等の説明	<p>空き家や中古住宅を活用した移住促進策は、現在、金融機関や建築・不動産事業者等で構成される相模原市緑区地域既存住宅リフォーム・改築推進協議会、通称「里まっち」を組織し、中古住宅の紹介や移住希望者に対しての相談等の支援と合わせ、イベントへの出展や移住セミナーの開催などPR活動を展開し、19件の物件について契約が成立したと伺っている。</p> <p>相模湖地区での空き家の活用策については、「里まっち」への仲介をはじめ、所有者や居住希望者をつなげる仕組みづくりの効果的な手法について、まちづくり会議の皆様と市と一緒に検討しながら、地域の取組を支援していきたい。</p> <p>相模湖地区は自然豊かな生活環境と併せ、中央線沿線という立地条件により都心へのアクセスが容易であることが大きな特徴であるが、地域独自の魅力を磨き上げ、情報発信していくことが重要である。</p> <p>今後とも、移住・定住の促進に向け、皆様とともに地域の実情に応じた方策を検討し、地域の皆様と連携しながら取り組んでまいりたい。(緑区役所)</p>

主な質疑等	
意見等	<p>10年後、20年後を考えると、相模湖地区だけでなく、藤野地区や津久井地区も同じ状況である。市として移住・定住促進に向けた政策を立ち上げていかなければいけないのではないか。津久井地域全体で中山間地域のよさを生かし、住みたいという人たちを増やして行って、地域を活性化していくことが、緑区にとっては特に重要と思うが、そのあたりの見通しはどうか。</p>
回答	<p>移住・定住の政策的な考え方について、総合計画や都市計画マスタープランの策定に向け議論をいただいているが、緑区の移住・定住政策は重要な政策課題と感じている。今回から区別の基本計画を新たに策定させていただくので、その中で位置づけをさせていただきたい。</p> <p>これから人口減少に入っていくなかで、移住関係のビジネスが民間で活発に行われている。行政や地域の皆様に加え、専門家や民間の方々の方々の活力もお借りしながら、どういう形で相模湖の魅力を引き出せるのか、それによってどういう形で移住・定住させていくかを総合計画、区別基本計画策定の中でぜひ議論していきたい、皆さんと一緒に築き上げていければと考えている。（緑区役所）</p>
意見等	<p>数年前に帝京大学が引っ越し、途端に学生がいなくなった。大きなものが動くそれに伴い人が移住するため、何か大きな開発や企業誘致がないと、なかなか本格的な活性化につながらないと思う。</p> <p>また、学生がいなくなり、空いていた学生用のアパートに生活困窮されている方が入居している事例もある。</p> <p>一時的な移住であっても、それで活性化するかもしれないので、空きアパートを有効利用し、地域の活性化につなげていただければと思う。</p>
意見等	<p>「里まっち」について、本日初めて知ったが、情報発信がうまく出来ていないのではないか。</p> <p>例えば、ツイッターやフェイスブックなどを活用して、空き家や物件について情報発信し、伝えていくことが移住や定住につながっていくのではないか。</p>
意見等	<p>都心まで1時間で行けることを相模湖地区に住んでいる人は知っているが、都心に住んでいる人は知らないと思う。そういう情報発信も必要かもしれない。</p>
意見等	<p>新しく住み始めた方たちに相模湖の何が魅力で来たのかという意見などを聞き、魅力発信をしていかなければいけないのではないか。</p>
意見等	<p>相模湖地区の魅力を発信する、掘り起こすことが大事ではないか。相模湖地区の場合、相模湖こども園が設置されたことにより、子育てをするのに色々な対応をいただいている。そういったことから子育てのしやすいまちにつながらないか。</p> <p>子育てをしている親御さんが集まれるような場所を備えた施設の充実も必要なことではないか。</p> <p>また、農地、休耕地が多くあるため、それらを活用し、農業をPRして地区の魅力につなげていくこともできるのではないか。</p>

意見等	<p>千木良では、2軒ほどの空き家にすぐ入居してきた。その他にも、土地が売れている。農地が宅地になると広く使えるので、そういう土地が活用されるようになればもっと新しい家も建てやすくなるのではないかと。地主に聞くと、活用したいという人もいるが、欲しい人と結びついていない。</p> <p>空き家だけでなく、活用できる土地があるということ、地域住民が宣伝していくようなところをつくっていったら良いのではないかと。</p>
意見等	<p>「里まっち」は、主に藤野地区でやっているのか。また、どのような方が構成員になり、どのようなつながりになっているのか。</p>
回答	<p>実際に契約が成立しているのは藤野地区がほとんどである。不動産業者と金融機関、観光協会、設計事務所、建築事務所、津久井の森林組合などが構成員になっており、藤野観光協会が窓口になっている。また、区役所もオブザーバーとして参画している。顧客のニーズに応じて、いろいろな業界の方々の情報を入手していかなければ1つの契約にまとまらないため、そういった情報をもとにして顧客のニーズと結び付けていき、マッチングさせている。(緑区役所)</p>
意見等	<p>ニーズがあって、買いたい、売りたい方がいれば、「里まっち」がなくても不動産や金融機関などで契約ができれば済むように感じる。扱っている地区は緑区全体でよろしいか。</p>
回答	<p>扱っている地区は、緑区全体であるが今までの経緯もあり、情報が藤野地区に集中することはある。他の地区でも1件成約したと聞いており、エリアを広げている。(緑区役所)</p>
意見等	<p>観光協会も他の業務を行いながらのため、観光協会の中に専属の人を配置するなど、人員を強化していくことができないか。</p> <p>藤野地区の自治会連合会が移住対策の視察に行った伊那市では、行政に窓口がある。また、民間をうまく利用している。</p>
回答	<p>先ほど、区別の基本計画の中で重要政策として出していきたいというお話をした。窓口を作るためには、施策を打ち出していかなければいけないと思っている。政策として位置づけしていないと財源の確保はできないため、プロセスを踏まえながら、民間の方々のノウハウを生かしていきたい。(緑区役所)</p>
意見等	<p>相模湖地区は、藤野地区と合わせてトレッキングなど登山の客が来ている。そういった方が通ったときに、「感じのいいまちだな」というところから「空き家がある。住みたいな」という気持ちが生まれてくると思う。今あるものを整えていくことも大事なことかと思う。</p>
意見等	<p>空き家対策ということで意見が出ているが、空き店舗も重要と思っている。例えば、湖畔を見たときに店舗として開いていない状態になっている。高齢化で皆さんお仕事がなかなかというようなことがあるが、店舗を貸してもいいと思っている方が増えてきているという話を伺っている。例えば、ものづくりの人たちがその店舗を借りることができれば、そこに住むようになることもあるかと思う。</p>

意見等	<p>移住・定住の取組として考えたときに、空き家から入るのは無理があるのではないか。官民一体となって魅力の情報発信という部分から入っていかないことには、移住は見込めないのではないか。</p> <p>相模湖は子どもと子育てをしている親に優しい環境ではないと思っている。そこに「空き家があるからおいで」といっても見込めない。柔軟な対応を行政のほうでしていただき、相模湖地区の人と一緒に情報発信に取り組んでいただいたほうが話は進むかと思う。</p>
意見等	<p>魅力のある相模湖ということで考えたとき、これからオリンピック・パラリンピックや市民の森もあり、相模湖があと2年でいろいろな意味で変わる時期ということで、行政と一緒に民間もやれることをやっていきたいが、民間でできないところをぜひやっていただきたい。</p>
回答	<p>これから皆さんにも総合計画や区別の基本計画の議論もいただくので、どういう形で移住・定住促進に取り組んでいくかということについて、議論をお願いしたい。形が見えてくると話が進むのも早いと思う。行政と皆さんがどういう役割で進めていくことが一番いいかということこれから皆さんと一緒に考え取り組んでまいりたい。（緑区役所）</p>